

津山工業高校 PTA新聞

アカンサス

Tsuyama Technical High School 2020.12 第26号

至誠行貫

2020.11.12 ▶ 11.13
★★★★★

魅せろ！工業魂 峰南祭 コロナを吹き飛ばせ

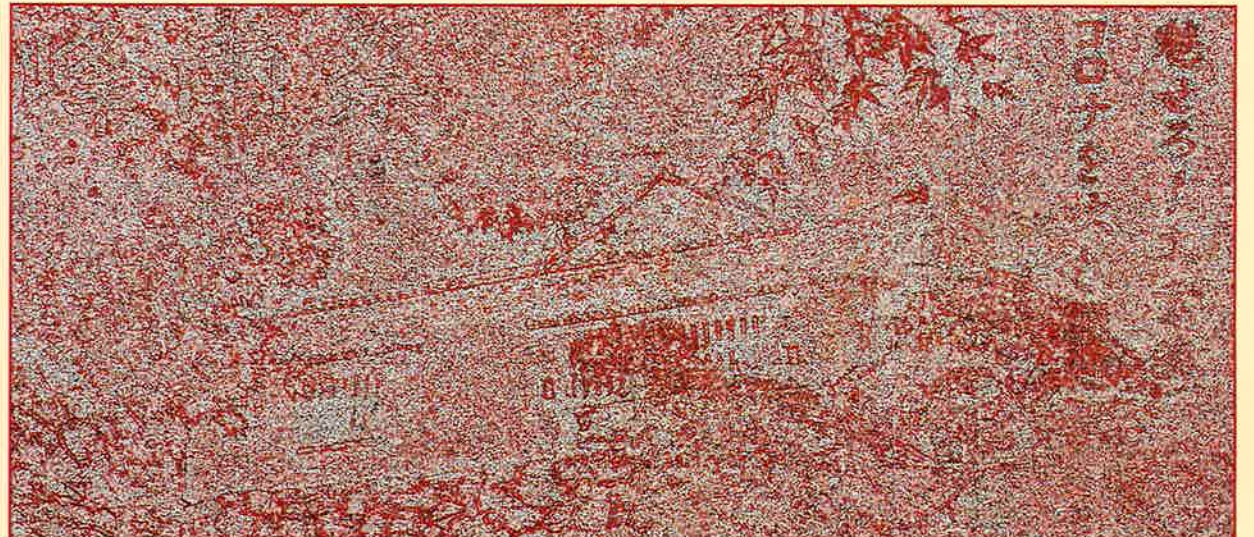
峰南祭 スローガンとポスターについて

2020 峰南祭は、体育の部と文化の部を11月12日(木)と13日(金)の2日間で行います。

峰南祭スローガンは、H.R.君に考えてもらい、代議委員会が室長が話し合っ決めてくれました。その結果、建築科2年須原漢太郎さん、坂手陸人さんが考えた「魅せろ！工業魂」コロナを吹き飛ばせ」に決定しました。

そして、ポスターは今年もデザイン科にお願いしました。デザイン科3年野田歩実加さんが、コロナを吹き飛ばし明るい未来を迎えるようなイメージの作品を仕上げてくださいました。

2020 峰南祭、みんな楽しんでみましょう！



今年、新型コロナウイルスの影響で、多くの学校行事が例年通りに行うことができなくなりました。

しかし、津山工業高等学校の峰南祭はどうか開催して全校生徒の皆さんに楽しんで欲しい、高校生活の良い思い出になってほしいと思いい生徒会で話し合い、省略する形ですが開催することになりました。1年生は劇、2年生は展示、3年生は出し物、そして各学年で球技大会としました。

峰南祭当日では、各学年それぞれが頑張ったより良いものを披露してもらえたいと思います。それだけでなく、今年は例年の体育の部で取り組む科別のシンボルができなくなったので何か形のある思い出を作りたいと思い話し合いを生徒会で行いました。そして全校生徒のみなさんの協力のおかげで全校制作であるモザイクアートを作ることができました。一人A4サイズの用紙を2枚、1cm角の赤・黒・白のモザイクを作りみんなで描いた1512枚を張り合わせ津山城にある(備中櫓)びつちゅうやぐら(縦6m×横12m)を描きました。これまでの峰南祭を開催することができたのは、協力してくださった先生方、全校生徒のみなさんのおかげです。本当にありがとうございました。

峰南祭を思う

生徒会長 金藤 亜廉 (工業化学科3年)

今年、新型コロナウイルスの影響で、多くの学校行事が例年通りに行うことができなくなりました。

しかし、津山工業高等学校の峰南祭はどうか開催して全校生徒の皆さんに楽しんで欲しい、高校生活の良い思い出になってほしいと思いい生徒会で話し合い、省略する形ですが開催することになりました。1年生は劇、2年生は展示、3年生は出し物、そして各学年で球技大会としました。

峰南祭当日では、各学年それぞれが頑張ったより良いものを披露してもらえたいと思います。それだけでなく、今年は例年の体育の部で取り組む科別のシンボルができなくなったので何か形のある思い出を作りたいと思い話し合いを生徒会で行いました。そして全校生徒のみなさんの協力のおかげで全校制作であるモザイクアートを作ることができました。一人A4サイズ



峰南祭 文化部

書道部

美術部

金賞 シーケンス制御作業 R科3年 奥 太晴さん

3級技能検定試験シーケンス制御作業の試験は、今まで受けてきた資格や検定の中で特に力を注いで頑張ったので、金賞が取れて嬉しいですね。

実技試験では、過去に出題されたプログラム(ラダー図)をつくり、様々なプログラムを作れるように勉強しました。本番では、勉強していないようなプログラムが出題されたけど、今までの勉強でシーケンスをより深く理解できていたので対応できました。

今後このような経験を活かして、様々なことにチャレンジしたいと思っています。

職業技術顕彰受賞 危険物乙種取扱者 試験全類取得 Ch科3年 富阪 隼斗さん

危険物乙種取扱者試験は、高校生の受験者が多く人気の国家資格だと思います。資格取得に向けまずは、第4類を取得しました。危険物の授業やテキストを利用して勉強しました。次に、第6類を受けました。第6類は品名が少なく比較的簡単でした。次に、1類と5類を取得しました。1類と5類は、どちらも品名が多く一苦労しました。わたしは2年生の選択授業で、危険物を選択していませんでした。そのため、自分で勉強していくのはとても大変でした。この資格の取得にむけては、テキストをしっかりと読み込んで勉強し、問題や模擬問題を繰り返しすることで取得できたと思います。

岡山県知事賞

金賞 大工事作業 A科2年 武本 流碧さん

今回、技能士の建築大工部門で、金賞をいただき誠にうれしい限りです。このような賞をいただけたのは、ご指導くださった先輩や先生方あってのことであり、とても感謝しています。今年2級にも挑戦します。

この賞に恥じないように努力を続けたいと思います。

岡山県職業能力開発 功労者表彰式

金賞 大工事作業 A科2年 武本 流碧さん

今回、技能士の建築大工部門で、金賞をいただき誠にうれしい限りです。このような賞をいただけたのは、ご指導くださった先輩や先生方あってのことであり、とても感謝しています。今年2級にも挑戦します。

この賞に恥じないように努力を続けたいと思います。

3年生

峰南祭
文化の部

学年 3 年 担任 代 健

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、行事という行事がなくなってしまいました。その上、3年生にとっては就職試験など進路決定の真最中の中での峰南祭でした。

例年と違う内容の中、正直どうなるのだろうかと心配していました。しかし、取り越し苦労でした。

今まで行事がなかった分だけ、みんなで協力して楽しい行事にしようと頑張ってくれました。3年生のパフォーマンス部門では、各クラスの結束力をしっかり見せていただきました。ダンスや寸劇、動画の工夫など見ている方も楽しませていただきました。

また、球技大会の部においてもルールを守って思いっきり楽しもうと団結していました。勝敗よりも楽しんでいる姿に見ている方も感動しました。

みんなの協力で楽しい行事になったと思います。今後は卒業へ向けて協力しあって最後の高校生活を楽しんでもらいたいと思います。



土木科3年

土木科

生徒にとつては最後の峰南祭文化の部ですが今年度はコロナ禍によって、縮小開催される学校行事でなかなか盛り上がりには欠けていたのではないかと危惧し、みんなが元気づけられ、巻き込めるような内容を企画しました。内容は見事オーディエンスを巻き込み、会場が一丸

消臭力やバズドラ、楽天バンドなど様々な動画を撮影し、高い完成度の作品を作ることができました。各班が工夫を凝らし、先生方の協力も頂いた結果、見事3年生の中で優勝することができました。

担任より 就職・進学試験の時期と重なりながらも、時間を有効に使い、良い作品ができたと思います。

コロナ禍によって自分たちがやりたいことができない状況にあっても、下を向かず、今できる最高の出し物を考えていた君たちの姿は、とても素敵でした。残り少ない高校生活ですが、最後まで感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきましょう。



建築科

私たち建築科3年生は、短い準備期間の中で何ができるかを考えた結果、CMのパロディ動画を作成することにしました。クラス内を6班に分けて、衣装や道具を各自で準備し、撮影を行いました。

となれるような内容を披露してくれ、最後を締めくくってくれたと思います。**担任より** 土木科は6科の中で唯一担任がどちらも変わることがなく生徒の成長を3年間見守ることができました。津山工業高校に新任として着任し、日々を共に過ごせたことはとても嬉しく思います。一步一步、成長の速さや幅は違いますが、一人の大人、良き工業人に向けて伸びてくれたと思います。

機械科



機械科3年生は出し物でスーパーマリオの劇を行いました。前日まで小道具などの製作に追われ、本番までに間に合うかどうかとても焦りました。が、クラスのみんなが協力して準備し、本番ではみんな楽しんで演技を行うことができました。就職活動もあり準備期間が少ない中で難しい内容でしたが、みんなで協力し無事に成功させることができましたので、とてもいい思い出になりました。

工業化学科

私たち工業化学科はダンスとカラオケ発表を行いました。ダンスの練習は居残り練習をするなど頑張っ

担任より 1年生の頃から楽しみにしていた模擬店ができず残念そうな様子でしたが、スーパーマリオブラザーズの劇を楽しそうに演じる姿を見て、良い峰南祭になったと感じました。

学校生活も残り少なくなりましたが、一日一日を大切に過ごし、悔いのない高校生活だったと思えるよう頑張っていきたいと思います。

デザイン科



デザイン科はステージ発表でダンスをしました。短い期間の中で前々からLHRの時間などにみんなが話し合いをし、二週間前から放課後に居残りをすることなどして、無事成功させることができました。就職や進学が重なった中でも一人ひとりが協力し、助け合いながら、最後の峰南祭ができ、良い思い出が作れました。新型コロナウイルスのある中、いつもとは違う形でも峰南祭ができてとても嬉しく思いました。

担任より 進路決定に向けてのスケジュールが例年と異なり、慌ただしい中、集中して準備に取り組みク

いました。練習では少し揉めることもありましたが、本番ではクラスが一丸となり、良い発表ができました。カラオケは2組が熱唱し、とても盛り上がりました。このような開催になりましたが、とても楽しかったです。**担任より** 田中君と国米さんを中心に、陶山さん、東山さんが振り付けを担当する等、短い期間でしたが一生懸命練習に取り組みしていました。

ロボット電気科



私たちロボット電気科3年生はマジックショーを行いました。4つのグループに分かれて、各グループごとで考えたマジックを披露しました。1組目は、

スのまとまりの良さを発揮できた峰南祭でした。残り少ない学校生活を大切に！(仁木)

担任より 高校生活最後の峰南祭文化の部は、マジックショーをやる中心に企画・準備・本番と全員で協力することができました。今年度はクラスでの活動がなかなかできなかった中、それぞれの役割を果たし、思いに残るショーを披露することができました。残り少ない学校生活ですが、この峰南祭での団結力で、最後まで突き進んでいきましょう。(井上・上山)



峰南祭 体育の部(球技大会) 成績

男子

○フットサル	○バスケットボール	○ソフトボール
1位 土木	1位 建築	1位 工業化学
2位 建築	2位 土木	2位 ロボット電気・デザイン
3位 機械	3位 機械	3位 土木

女子

○バスケットボール
1位 デザイン①
2位 建築
3位 工業化学



2年生 | 峰南祭
文化の部

学年主任 杉山 展雄

今回は、本当に大変な年です。私も教員生活を振り返ってみると、いろいろな出来事があります。

しかし、今回の新型コロナによる世界的なウイルス感染については思いもよらない恐ろしい出来事です。

学校生活では生徒たちの思い出に残る沢山の行事が、ことごとく中止・縮小しなければならない状態です。さらには、生徒の学習活動について十分な実践ができているとは言い難いと思います。

しかし、生徒諸君は一生懸命がんばってくれています。このことには、敬服しますとともに今後の日本を支える若者の逞しさに夢と希望を感じます。

残り少ない令和2年度ですが、生徒一人ひとりが悔いの残らない学業を続けてもらいたと思います。私たち教員集団はエールを送ることしかできませんが、生徒諸君の益々の飛躍を、このような難局だからこそ期待しております。どうか、ピンチをチャンスに変えてください。

 建築科



「建築科の特色を生かした展示」というテーマで、三班に分かれそれぞれ木製のブランコ・アニメキャラクタの家の模型・鉄筋の骨組みを制作しました。これまでに学んだことを最大限に発揮した甲斐あつてか、展示の部で3位を獲ることができました。来年、もし模擬店ができるのであれば、1位になります。に頑張りたいと思います。

担任より とにかくものづくりへ熱中する姿に驚きました。自分たちが理想とする作品を作る上で、時間や予算、材料など様々な問題が浮かび上がりました。しかし、そこで投げ出すのではなく、どうすれば完成するかという話を話しあい、解決に向かって奮闘する姿は、私自身も見習うべき姿だったと思います。

土木科



土木科2年生は、現場の休憩所を土木科2年生風にアレンジしたものを展示しました。最初は見もたず、作業もなかなか進みませんが、放課後をつかって、



 機械科



した。この文化祭を通してクラスの絆もより深めることができ、よい思い出になりました。

担任より 展示では、土木作業所を土木科2年生の個性あふれる形で表現しました。等身大の科長やオリジナルの看板など、見応えのあるものでした。また、球技大会では三冠を達成し、皆さんの底力を実感しました。出会った頃に比べ様々な面で成長を感じており、やればできる集団であると信じています。いま何をすべきか、その選択の積み重ねで自分の未来が決まるということを意識して、学校生活を送っていきましょう。

僕たち機械科2年生は、パターゴルフ場を作りました。製作はグループに分かれて、コースやクラブ、木や池、製作風景のスライドショーを作りました。コー

スは木材を加工して作り、クラブは機械科の授業で行っている溶接や旋盤の技術を活かして製作を行いました。池には段ボールを立体的に組み合わせて作った巨大なワニを置きました。一人一人が欠けることなく頑張って取り組めたおかげで2位の表彰を取ることができました。

担任より 今年度は、11月の峰南祭になりやっと生徒の楽しそうな様子を見ることができました。内容についても、体験型の展示を作ったことや機械科の特色を活かすことができたことなど、とても実りのある時間でした。とにかく仲の良いクラスですがなかなか落ち着きがないので、皆で「ケジメのあるクラス」にしていきたいと思います。

工業化学科



工業化学
科2年生は
おもしろ映
像と化学に
関する展示
の2つを行
いました。
初めは何を
していいか
わからず戸
惑っていた
したが、担
任の先生や
クラスメイトと話し合い、すぐに
準備を始めました。2週間前から



取り掛かった準備でしたが、製作にはとても時間がかかり、放課後や休日学校にきて必死に頑張りました。思った以上に完成度の高い作品ができたと実感しています。来年の峰南祭もクラスで力を合わせて取り組みたいです。

デザイン科



担任より 工業化学科の2年生は、学校行事で大きな輝きを放つクラスだと感じています。今回も峰南祭の実行委員や室長や副室長だけでなく、様々な場所で、リーダー性を発揮している生徒が見受けられました。この調子で3年生になっても学校行事にひた向きに取り組むクラスであってほしいと思います。



ロボット電気科



み立てをみんなで支えながら頑張りました。結果1位もとれてクラスが一つになった気がしました。

担任より 11月の始めは、チームなど具体的な内容がクラスで決まらず、ヒヤヒヤしていました。しかし、チームが決まってきたのパワーは凄かったです。放課後遅くまで作業をし、日に日に展示物ができていきました。結果、峰南祭当日にはびっくりするようなラプソディの空間になっていました。D2のパワーを感じました。さらにクラスとして成長していいと思います。

ポット電気
科2年生で
は特色を活
かそうと、
ロボットコ
ースと電気
コースに分
かれて展示
をしました
ロボットコ
ースは工場
などでみら
れるクレー
、電気コー

担任より

今回峰南祭は学校内部だけでの開催ということもあり、最初は不安もありましたが、ロボット電気科一丸となって取り組めたと思います。

担任より 学校内部のみの開催ということもあり、しっかりした作品ができるか不安の中取り組んでいるようでしたが、完成まで各々の担当を最後まで取り組み完成させてくれました。これからも、各コースの技術を高めていって欲しいと思います。

峰南祭 体育の部(球技大会) 成績		
男 子		
○バスケットボール	○ドッジボール	○サッカー
1位 土木	1位 土木	1位 土木
2位 建築	2位 建築	2位 工業化学
3位 ロボット電気	3位 ロボット電気	3位 機械
女 子		
○ドッジボール		
1位 デザイン③		
2位 デザイン①		
3位 デザイン②		



1年生

峰南祭
文化の部

学年主任 安東 一芳

今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、行事が中止になったものもあれば、規模を縮小して実施することになったものもありました。1年生にとっては、高校生活最初のスタートが不規則な日程の中で進んでいくということになり、生活のリズムを作るのに苦労をしたと思います。テレビを見ると、毎日のように、「3密」や「ソーシャルディスタンス」ということが言われていました。今まで経験したことのない人と人の距離を開け、接触機会を減らすことに注意しながらの学校生活になりました。その中で、峰南祭は、みんなで協力して楽しい行事になりました。1年生の新体育館でのステージ発表では、各クラス趣向をこらしたのになっており、どの科も素晴らしい発表になっていました。また、球技大会においても晴天のもと、全員が一致団結して競技に臨んでいました。コロナ禍での峰南祭となりましたが、みなさんの記憶に残るものになったと思います。

建築科



私たち建築科1年生は、スポーツ大好きな40人。真面目で面白い男子19名とよくしゃべるけどしっかり者の女子21名です。

楽しいはずの高校1年生の生活は、新型コロナウイルス感染症による休校から始まりました。なかなかクラスメイトの名前も覚えられず、仲良くなれなかったけど、峰南祭の準備をするうちに、友だちのいいところがいっぱい見えて、仲良くなれました。練習期間が短い中、ステージ発表はダンスをすることにしました。男子は1カ月前からリモートで「惑星ループ」を練習しました。女子は放課後に残って「トリコ」と「What Takes You Beautiful」の練習をしました。1位になるために、たくさん努力し、団結できたと思います。結果は2位でしたが、その練習期間に団結でき、仲良くなって思い出を作れたよかったと思います。

担任より 「峰南祭の文化の部、1年生はステージ発表をします。」と、ダンスしよう。男子と女子は別な。」と、どんどん決まっていきました。ダンスリーダーは、柿元君と高山さん。男子は、衣装をスカートにするというところから、決定が速い！すぐに「惑星ループ」の動画をスマホで共有して、自主練習に入りました。女子も曲はすぐに決まったのですが、途中で話し合いも繰り返され、男子の完成度の速さに引かれ、遅ればせながら形ができていきました。男女の協力も見事で、仲良く当日を迎え、踊り終えることができました。1学期には、ぎくしゃくした友だち関係だったのに、クラスのことを考えて行動できるようになった建築科1年40名、君たちの成長を見ることができて、うれしい担任です。

土木科



今回の峰南祭ではオリジナル劇にチャレンジしました。始めはなかなか思うように準備が進まず、本当にこのままの間合のたろうか。と途中何度も不安な気持ちになった。しかし、みんなで協力して小道具を作製したり、劇の練習をしたりして、当日はよいものができた。みんなが協力しあえたからこそ、最高の劇ができたと思っている。今回の峰南祭はいいものになったと思う。

担任より 最初は初めての峰南祭ということでイメージがわかないのか、なかなか企画が決まらず、非常に不安なスタートでした。しかし、企画を決めた後は一切担任の手を借りることなく、自分たちだけで準備を進め、当日は素晴らしい劇を披露してくれ、感心しました。賞はとれませんでした。本当に最高のステージ発表でした!!

機械科



私たち機械科1年生は、クラス内で2グループに分かれて「ガッツ」と「カンナムスタイル」をそれぞれ踊りました。練習時間が短い中、それぞれがダンスを一生懸命練習し、本番では完璧に踊りきることができました。そして、発表の最後には全員で機械科伝統である「津山工業高校第一

応援歌を歌いました。最初は歌詞を覚えることで精一杯でしたが、本番ではクラス一丸となって歌うことができました。40名全員でステージに立つということは、とても緊張しましたが貴重な経験となりました。

工業化学科



峰南祭文化の部では、ステージ発表で劇を行いました。本番までセリフを覚えて何度も練習して、当日は素晴らしい演技を披露してくれ、感心しました。賞はとれませんでした。本当に最高のステージ発表でした!!

準備ができていかなかったが、全格試験の日程と近くなりなかなか準備ができていませんでしたが、全力でセリフにダンスの練習を遅くも力を入れて準備しました。緊張する中で全力でやりきる貴重な経験から達成感など得るものはたくさんあったのでこれからの学校生活に活かしてもらいたいと思います。

デザイン科



デザイン科1年生は「アラジン」という題名でアラジン、白雪姫、不思議の国のアリスの3つのストーリーを組み合わせたパロディ劇をしました。劇のシナリオはクラスオリジナルで考え、小道具や大道具、衣装にも力を入れてつくり上げていきました。小道具は全て手作りし、背景はたくさん模造紙をつなぎ合わせて作りました。

担任より 本番1週間前からの追い込みは凄まじく、一致団結という言葉はD1の為にあるのではなかつたかと思つた程でした。直前まで完成形が見えないまま本番を迎えましたが、個々が皆の為に動いた結果、ハプニングも物とせず良い発表ができました。感動です。これからも個性的で、いざという時に協力し力を発揮できるD1でいきましょう。

ロボット電気科



クラス全員で初めて迎えた峰南祭文化の部では、一人ひとりが自分の役割を理解して行動し、取り組んでくれました。しかし、台本の内容を決めたり練習をするときに、私語をして話を聞いてくれないクラスメイトもいました。そのような課題も今後のクラス行事などで解決してより良いクラスになって、来年の文化の部に取り組んでいきたいです。

峰南祭 体育の部(球技大会) 成績

男子		
○フットサル	○ドッジボール	○ソフトボール
1位 土木	1位 機械	1位 ロボット電気
2位 工業化学	2位 建築	2位 土木
3位 建築	3位 ロボット電気・デザイン	3位 工業化学
女子		
○ドッジボール		
1位 建築・機械①		
2位 建築・機械②		
3位 工業化学		



今年度のロボット電気科1年生のステージ発表では、「桃太郎」海賊たちと宝の発表をしました。台本や発表に使用する装飾品などの準備については、両担任の指示待ちにならず実行委員の生徒を中心に意見を出し合い、クラス内で共有して取り組んでいました。課題があり発表の部で良い成績は残せませんでした。生徒たちはしっかり取り組んでくれたと感じています。

生徒のコーナー

新人戦活躍

柔道部

令和2年度岡山県高等学校 新人柔道大会
団体戦 第3位
個人戦 第2位
60kg級 A科2年 木下一輝さん
90kg級 M科2年 小林希守さん



弓道部

第59回岡山県高等学校弓道新人大会
近隣の部 男子団体戦 4位
第43回岡山県高等学校弓道選手権大会
近隣の部 男子団体戦 4位
男子個人戦 R科2年 山田 輝月
女子個人戦 A科2年 坂口結衣花



写真部

第46回県北写真展
写真部より19作品を出品。応募総数209点
特選「光」 Ch科2年 北原来々未
入選「青」 D科1年 岸本 空



善行賞 津山警察署より表彰

剣道部

部活動において週2回の校内外の清掃活動を行っている。



地域貢献

建築科・機械科の生徒15名で机・椅子の足に取り付け床の足カバー用テニスボール(約600個)を津山東小学校へ寄贈しました。



建築科

9月14日(月)に第51回住宅設計競技会表彰式が行われました。昨年度「地域に開かれた美容室併用住宅」をテーマに設計し、優秀者10名が津山市建築士会から表彰されました。

今年度は「景観を楽しみながら在宅ワークができる家」をテーマに1・2年生が現在、必死で取り組んでいます。今回はどんな作品が登場するか、そして栄冠は誰に輝くのでしょうか。建築科の生徒の皆さんががんばってください。



土木科

11月25日(水)に美作県民局との連携による建設現場見学会が行われ、1・2年生が最新の土木技術を体験しました。普段見ることのできない現場を見ることで土木の仕事が社会を安全に便利にしていることを学べたと思います。11月28日(土)には高校生ものづくりコンテスト岡山県代替大会が行われ、3年生2チームが参加し、第3位に入賞いたしました。



工業化学科

今年度は新型コロナウイルスの影響により、高校生ものづくりコンテストの中止、技能士前期試験、2級ボイラー試験の中止など、多くの資格検定を取得し卒業したいという生徒については厳しい年度であったと感じます。しかし、峰南祭ではそれぞれのテーマについて演劇や展示としてダンスを成功させることができました。今後も生徒同士協力して活動できるように工業化学科として応援していきたいと思っています。



ロボット電気科

オープンスクールでは、レゴロボットおよび電気工作に加えて、ロボットアーム体験を実施しました。また、課題研究で製作中のアピールロボットの実演展示も行いました。電気機器組み立て(シーケンス制御作業)3級技能士について、マインスターによる実技指導を今年度も実施しました。昨年度の受講生、3年生の奥太晴くんが岡山県知事賞(金賞)(令和元年度後期3級シーケンス制御作業)を受賞。12月のつやまロボットコンテストには、2チームが参加し準優勝しました。



デザイン科

本来は6月に実施されるレタリング技能検定が11月になり、色彩検定と時期が重なって厳しい日程になりましたが、1・2年生が受検しました。3年生は12月26・27日のデザイン科紹介展に向けて制作の追込みです。



津工食堂

定食・うどん・カレーライス・ラーメン・丼ぶりなどメニューも充実した食堂はいかがですか。どのメニューも500円以下ですが、出来立てであったか、本校60周年記念館1階にて営業しています。食欲盛りの生徒のみならず、弁当・ラーメンなどの組み合わせでお腹を満たしてはいかがですか？



▲最優秀賞 岡本 七海さん

PTAのコーナー

PTA会長より

「コロナ禍でのPTA活動」

本年度のPTA活動は新型コロナウイルスの影響によりPTA総会も中止となり、かつて経験したことがない書面決議となりました。PTAの活動は総務部、文化体育部、補導部、学校保健部、進路指導部と五部から成り立っていますが、コロナの影響によってどの部とも例年通りの活動が行えない状態です。PTA活動の本来の目的である保護者と先生方で協力して生徒が充実した学校生活を送れる場を作ることです。唯一行えたのが10月3日に役員と先生方だけとはなりませんが、10月10日のオープンスクールの前に校内外の奉仕作業を行いました。奉仕活動により少しでも生徒の役に立ちたいという気持ちで皆さん作業をされました。何も出来ない中で微力ですが活動できたことに對しまして皆様に感謝しています。

「地元・地域・社会に津工から元氣を」

岡山県北で唯一の工業高校として、地元・地域・OBの方々にどのような形でアピールができ、表現できるでしょうか。また地元の皆様から見た津山工業高校の生徒はどのような印象を持たれているのでしょうか。工業高校は普通科にはない工業系の専門分野を主として座学や実習をしていることが挙げられます。ものづくりの基礎を学ぶことで関心を深め向上心を持って取り組む姿が見られます。日々の努力や継続を積み重ねることで充実した学生生活を送れると思います。多くの企業が津山工業高校の生徒に期待を寄せていると思います。生徒会を中心とした挨拶運動により、学校全体が明るくなったと思います。この元氣を社会に出ても広めていってほしいと思います。

PTA研修会の報告

岡山市のピュアリティまきびにて、11月7日(土)PTA会長研修会、11月17日(火)PTA役員研修会に参加させていただきました。各校の新型コロナウイルス対策やPTA活動の情報交換を行いました。卒業式、入学式の行い方やPTA総会の中止、非常事態宣言により学校が休校になった時期にはリモートでの授業を取り入れた学校、体育祭、文化祭の開催方法などについての各校の取り組みについての情報を参加者全体で共有しました。各校の修学旅行が中止または近県、県内の日帰り旅行に変更となっている現状もお聞きしました。そうした中で津山工業は令和3年12月への延期を早い段階で判断していただいたことに感謝して、子供たちの学校へ来ることへのモチベーションも維持できているのではないかと考えています。先生方に対しては色々葛藤があったかと思うのですが、延期についての御判断に感謝申し上げます。このような研修会に参加させていただき各校の様々な取り組みが聴けて有意義な研修会でした。

「部活動を通じて心技体を鍛えよう」

一生のうち3年間、部活動を通じて学んだことは、生涯自分の糧となると思います。コロナ禍での部活動は3年生にとっては最後の大会もできなかった部が多いと思います。このような年になるとは誰も思っていなかったと思います。逆境の時こそ生まれるアイデア、絆や思いやりが今まで以上に向上されたのではないかと思います。試合の結果が全てではありません。それまでの過程が一番大事なことです。努力をしてもすぐに花が咲かないかもしれませんが、周りの友達や先生が必ず支えてくれます。そしてその努力の成果として花が咲くようになります。何事も「やればできる」ということです。3年間部活動を頑張ることで社会に出て耐えられる心、努力をすることで仕事に役立つ技、年間を通して仕事に耐えられる体、が得られることで、充実した社会人になれると思います。そんな津工生に期待しています。

「これからの時代に」

令和になり早2年が経とうとしています。教育環境も大きく変わりゆく中で柔軟に対応できることが問われる社会へと変化しています。学校でのペーパーテストも大事ですがこれからは非認知能力(テストや試験では測れない内面性)が求められると思います。自分への自信や意欲・忍耐力・創造性などがこれからの時代に対応していくために必要だと思えます。3年生はもうすぐ卒業となります。津山工業高校で多くの人の出会いに感謝をし、社会に出ても自助・共助を忘れずに頑張っていただけだと思います。

教職員のコーナー



教育相談室長 児玉先生

「わけわからん」と怒り心頭でやってくる生徒もいます。どうにかしてくだされい」と悲痛な面持ちでやってくる生徒もいます。「聞いてえ」と笑顔でやってくる生徒もいます。どの学校にも、相談係の教師はいます。免状を持っている人はほとんどいないと思います。しかも、カウンセラーというお話を聞いてくれるだけで、何も有効なアドバイスはもらえないのが現状です。津山工業高校は違います。相談室長はプロのカウンセラーです。さらに月に1〜2度、室長

と同じアドバイザー心理士のカウンセラーがスクールカウンセラーとして来校します。相談体制は万全です。また、毎月スクールカウンセラーによる勉強会を行い、津山工業高校の全ての先生が生徒に寄り添い、カウンセラーを行ないながら問題の解決ができるように研鑽を積んでいます。津山工業高校の「しあわせ」を作り出しているのが相談室です。ご家庭での親子間の困りごと、学校へのご不満・ご要望など「困ったな」という時、お気軽に相談室をご利用ください。

教育相談室 Q&A スクールカウンセラー 大森先生

③「自身の体験を含め教育相談の大切さを教えてください。」
新任教師5年目の転勤で挫折して、転職を覚悟しかけたとき、大学の恩師から紹介された「カウンセラー」に関する書籍で、まず自分が救われました。



④「保護者へのメッセージがあればお願いします。」
「教育相談」と「カウンセラー」というと、何か固いイメージを持たれるかもしれませんが、津山工業高校の教育相談室は、温かい癒やしの場です。ご相談いただければ、抽象的でなく具体的な「言葉のやりとり」レベルのアイデアを提供できます。どうぞお気軽に「来室」ください。

①「教育相談室で、昨年度より本校にお世話になっていますが、本校の印象はいかがですか。」
しっかりと落ち着いた、アカデミックな雰囲気を感じました。校門を入ると、いきなり「聚楽園」を思わせる手入れの行き届いた庭に感動しました。生徒さんたちはみなさんとてもお行儀が良いです。

②「教職員の研修(勉強会)をご講義いただいています。研修に関して一言お願いします。」
毎回、先生方が授業にクラス運営に即戦力として役立つような技法を、理論にもとづいてお伝えしています。参加された多くの先生方の生徒さんとかかわり方が変化していかれる様子が、手に取るようにわかります。とてもやりがいを感じます。

G Suite for EducationとChromebook 主幹教諭 道満哲典

国際的調査(PISA)で日本の教育はICT化が著しく遅れていると指摘され、2019年12月に文科省はGIGAスクール構想(義務教育を受ける児童生徒のために、世界標準環境の1人1台端末と高速ネットワーク等を整備する5年間計画。個性に合わせた教育の実現が目的)を発表しました。

用されているGoogle社のアプリ群「G Suite for Education」です。津山工業が採用した端末はG Suiteに最適化されたChromebookです。これらによって早くて細かな生徒把握が可能になり、また、個別最適化された学習環境が実現します。Chromebookは2021年度入学生からの購入です。在校生は個人のスマートフォンや家庭のパソコンを利用します。生徒も教職員も誰もが初めは慣れない環境ですが、使用頻度を高めることによって教育効果を高める手段にしなければなりません。これによって主体的で対話的な深い学びを実現し、生徒たちの新しい社会で生きる力を育むことを目指します。